



2019年9月期第1四半期 決算説明資料

株式会社 EduLab
東証マザーズ（証券コード 4427）

2019年2月8日

EduLab.

財務状況

損益計算書

(単位：百万円)

	19年9月期 1Q	対前年同期比※			
売上高	1,095.3	+30%半ば			
営業利益	16.1	+500%超			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100px;">営業利益率</td> <td>1.5%</td> <td>+1.2pt</td> </tr> </table>	営業利益率	1.5%	+1.2pt		
営業利益率	1.5%	+1.2pt			
経常利益	△90.4	—			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△77.0	—			

※ 前年度同四半期の未監査の実績数値との増減比較に関する参考値

- e-Testing/e-Learning事業、テスト運営・受託事業の両セグメントともに順調に売上は推移し**10.9億円を達成**
- 特別賞与支給の計上（2018年12月）や減価償却費等の増加はあったものの、**営業利益は増加**
- 季節的要因に加え、為替差損、株式公開費用、シンジケート・ローン費用等の**一時的な営業外費用の計上により経常・当期純利益ベースではマイナス**となった
- 為替差損を除き、**営業外費用も含めてほぼ想定通り進捗**しており、**今期通期予想については据え置き**

セグメント別の売上高・セグメント利益

(単位：百万円)

事業セグメント		19年9月期 1Q	対前年同期比※
e-Testing/ e-Learning	売上高	700.4	+30%後半
	セグメント損益	249.9	+40%後半
テスト運営・ 受託	売上高	394.8	+20%後半
	セグメント損益	△7.3	前年並
全社費用		△226.4	約65百万円増加

※ 前年度同四半期の未監査の実績数値との増減比較に関する参考値

■ e-Testing/e-Learning事業

- 英検協会関連のライセンス等収入の拡大や前期からサービス開始した「スタディギア」（多教科プラットフォームサービス）収入の増加等により**増収**
- 12月発生の特典賞与支給などの一般管理費は増加したが増収によりセグメント利益は**増益**

■ テスト運営・受託事業

- 平成31年度全国学力・学習状況調査の準備業務等により**増収**
- 12月発生の特典賞与支給などの一般管理費の増加によりセグメント利益は**ほぼ前年並**

■ 全社費用

- 12月発生の特典賞与支給及び上場等に伴う外部専門家報酬支払などにより増加

サブセグメント別の売上高

(単位：百万円)

事業セグメント	サブセグメント	19年9月期 1Q	対前年同期比※
e-Testing/ e-Learning	英ナビ・スタディギア	376.0	+60%半ば
	英検Jr.	56.9	前年並
	TEAP CBT	26.7	+70%超
	CASEC	74.3	+10%超
	テストシステム提供等	166.3	+10%台後半

※ 前年度同四半期の未監査の実績数値との増減比較に関する参考値

■ 英ナビ・スタディギア

- 「スタディギアfor EIKEN」のライセンス収入等の拡大や、前期からサービス開始した「スタディギア」（多教科プラットフォームサービス）収入の実現及び英ナビ広告の拡大等により**増収**

■ 英検Jr

- ほぼ前年並

■ TEAP CBT

- コンテンツ利用ライセンス料の改定等により**増収**

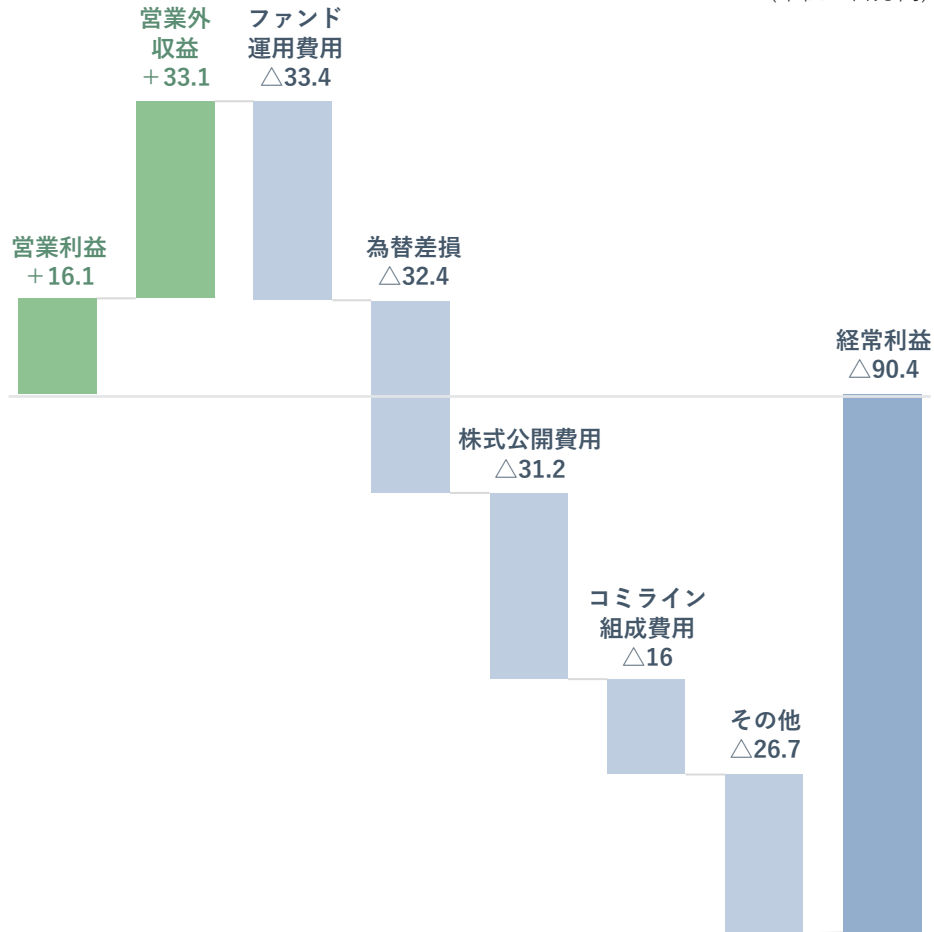
■ CASEC

- 順調な受注・販売拡大により**増収**

■ テストシステム提供等

- 主に手書き文字認識「DEEP READ」関連ソフトウェア利用についての非連結子会社DoubleYardからのライセンス収入等により**増収**

(単位：百万円)



■ 営業外収益増の主な要因

- 投資有価証券売却益を実現 (CodeMonkey Studios Ltd.)

■ 営業外費用増の主な要因

- 当期より運営開始した米国ファンド会社の運営費用が発生。このうち約14.9百万円はファンド組成費用で一時的
- また、上場に伴う株式公開費用、コミットメントライン組成費用も当期の特殊要因に起因 (一時的なものと考えられる)

■ 営業外費用についてはほぼ当期予想の範囲内

貸借対照表

(単位：百万円)

	18年 9月末	18年 12月末	増減額
資産	7,802	10,255	+2,453
負債	5,274	5,064	△210
純資産	2,527	5,190	+2,663
自己資本比率	32.4%	50.6%	+18.2pt

- 主に公募増資に基づく変化が中心で想定の範囲内となった
 - 公募による新株式発行に伴う現金及び預金の増加等により資産は**2,453百万円増加**、純資産は**2,663百万円増加**
 - 未払法人税等、社債の減少等により負債は**210百万円減少**
- 2019年1月23日付オーバーアロットメント売出に係る第三者割当増資により、2019年1月末までに資本金・資本剰余金は更に**635百万円増加**

(単位：百万円)

	19年9月期 1Q (実)	19年9月期 2Q (予)	19年9月期通期 (予)
売上高	1,095	2,658	6,810
営業利益	16	129	1,408
営業利益率	1.5%	4.7%	20.7%
経常利益	△90	126	1,290
親会社株主に帰属する 当期純利益	△77	53	861

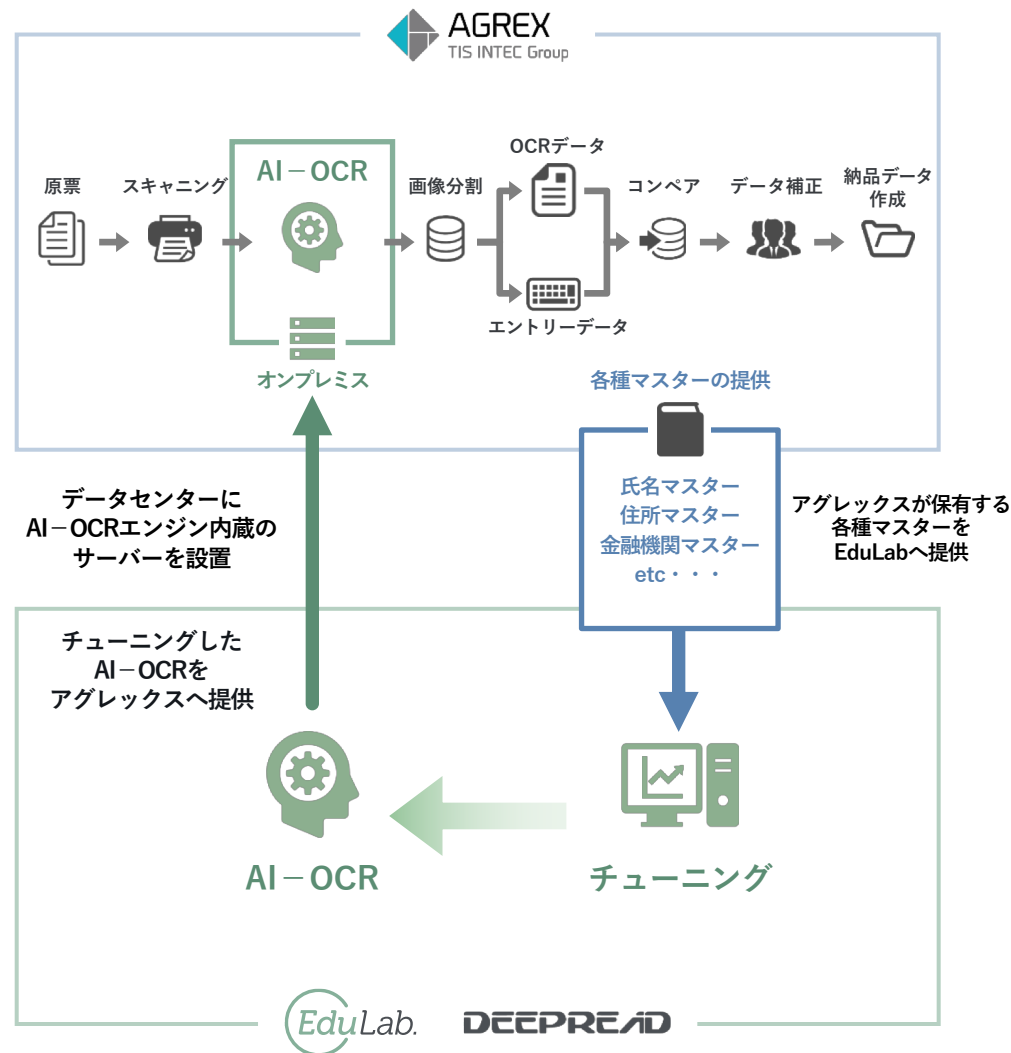
- 第1Qについてはおおむね当期予想どおり推移しており業績予測については変更なし
- 当社グループの業績には季節性があり、主に教育機関等の検収が集中する第2四半期、および「テスト運営・受託事業」が実施される第4四半期に、売上高および営業利益が偏重する傾向
- 文部科学省が実施する平成31年度「全国学力・学習調査」の委託事業による売上が下半期に大きく寄与する見込み（落札金額：17.8億）
- e-Testing/e-Learning事業、テスト運営・受託事業の両セグメントともに順調に売上は推移し、引き続き第2Qでは全体で約26.5億円の達成を予想

事業提携等

概要

- 50年以上**BPO事業**を展開する**アグレックス社**と業務提携
 - アグレックス社の顧客の約6割を占める**金融系企業**を中心に個人情報等のデータ管理を効率化
 - サービス提供 (2019年4月～) に向け**2019年1月22日より営業開始**
- 「AI-OCR」と「データ処理・補正技術」を組み合わせた**オンプレミス環境でのソリューション提供**
 - EduLabグループが提供するAIを活用した文字認識技術「DEEP READ」と、アグレックス社の持つ「データ処理・補正技術」を組み合わせた、高精度・高品質のデータエントリーサービスを提供
 - ネットワークを経由しない**オンプレミス環境**でサービスを提供することにより、**セキュリティの強化、導入・維持コストの削減を実現**
 - 将来的には、**RPA**を始めとする新たなソリューションの創出や**AI関連サービスの拡張を目指す**

処理フローイメージ図



- 本資料は、株式会社EduLabの業績等について、株式会社EduLabによる現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 株式会社EduLabの実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来展望に関する表明は、本資料開示時点（2019年2月8日現在）において利用可能な情報に基づいて株式会社EduLabによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。